

(様式1)



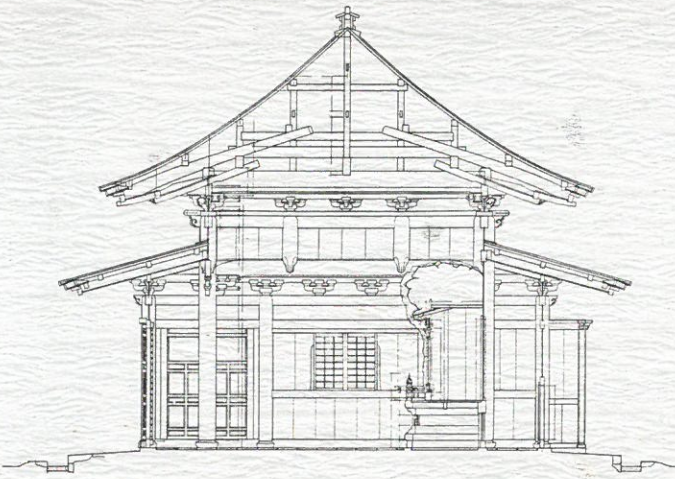
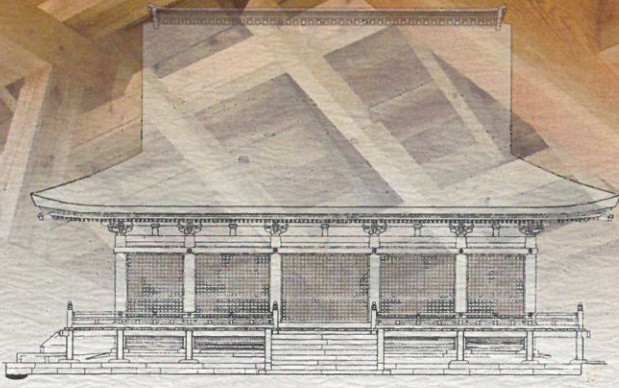
## 報道資料

平成31年1月15日

1 件 名	第12回 大内氏歴史文化研究会 講演会 の開催について
2 日 時	平成30年3月16日(土) 13:30~16:00(開場13:00~)
3 場 所	山口県立山口図書館レクチャールーム 山口市後河原150-1
4 内 容	<p>建築史の視点から、大内氏ゆかりの建造物の歴史と特色に迫ります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講師 <small>さわだ すすむ</small> 澤田 享 (秋田公立美術大学教授)</li><li>・演題 <small>すおう ながと</small> 「周防・長門国に於ける中世社寺建築の様式について」</li><li>・主催 山口市教育委員会</li></ul> <p>※聴講無料(申込不要)、手話通訳・要約筆記あり</p>
5 出席者	
6 問い合わせ	教育委員会事務局 文化財保護課 (担当:北島) TEL 083-920-4111

第12回大内氏歴史文化研究会 講演会

# 周防・長門国に於ける 中世社寺建築の様式について



平成31年

3月16日土

13:30~16:00 (開場13:00~)

山口県立山口図書館レクチャールーム  
山口市後河原150-1

講師 澤田 享 公立大学法人  
秋田公立美術大学教授

無料  
申し込み不要  
.....  
手話通訳・要約  
筆記あり

山口を中心とする防長2国南部の中世建築には他地域と比較して、特色ある細部意匠が多数検出された。各特色の内には、鎌倉時代末期以来のものも確認されたが、しかし、大多数の特色の登場と普及は15世紀後半からの室町時代後期からである。

この時代は守護大名・大内氏の後期に相当し、山口を中心として防長2国の一帯に広がっており、したがって、大内後期となる防長2国の建築界における独自性が認められる。しかも、室町時代後期から末期の地方建築界の勃興は全国的な現象とも考えられ、防長2国もその例外ではないことを示しているのであろう。

なかでも天文9年(1540)に山口に建立された不動院金堂(天正頃、山口より広島へ移建)については、禅宗様系の山口の各特色が認められ、これに加えて著しい細部意匠の発達など、山口の特色を遺憾なく発揮した大内氏時代最後の代表的な建築であった。加えて、この様式は近世になっても確実に継承された。したがって、これ等についても詳細に論じてみたい。

### 講師略歴

澤田 享(さわだ すすむ)

建築史家

公立大学法人 秋田公立美術大学教授

1956年 名古屋市生まれ

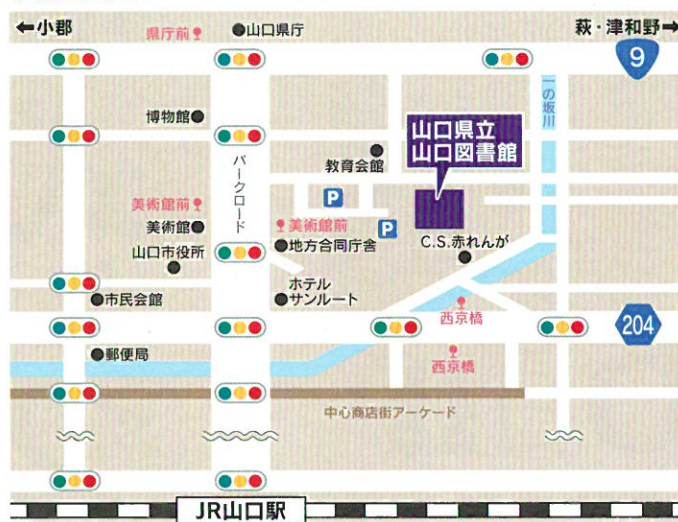
広島大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得

工学博士(横浜国立大学)

秋田公立美術工芸短大教授より秋田公立美術大学教授

専門は日本建築史、日本近代建築史、古建築の修復、復元

### 交通案内



JR山口駅から徒歩15分です。周辺の駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。